

データ工学と情報マネジメント論文特集の発行にあたって



データ工学と情報マネジメント論文特集編集委員会

委員長 是津 耕司

データベース技術に代表されるデータ工学分野では、昨今のデータベースの応用領域の拡大や、膨大かつ多様なデータの出現を受け、活発な研究活動が行われている。本会データ工学研究専門委員会が共催しているデータ工学と情報マネジメントに関するフォーラム（DEIMフォーラム）では、幅広くデータ工学並びに情報マネジメント分野を対象として、先進的な研究成果に対する発表と活発な議論を行っている。こうした背景を踏まえ、昨年に引き続き、情報・システムサイエティ和文論文誌にて「データ工学と情報マネジメント論文特集」を企画するに至った。DEIMフォーラムで発表された研究を更に発展させた論文、あるいは同フォーラムに限らずデータ工学と情報マネジメントに関連した論文を広く募集したところ、28編の応募があり、厳正な査読の結果、研究会推薦論文をはじめとする19編の論文を採録することとなった。

今回の特集では、今日のデータ工学と情報マネジメントの研究コミュニティの広がりを象徴するように、ストリーム処理、ストレージシステム、分散データ処理、センサDB、ネットワークコミュニティ分析、情報検索、データマイニング、テキストマイニング、情報推薦、Webコンテンツ処理、マルチメディアDB、ライフログDB、地理情報システムまで幅広いトピックの論文を網羅している。その一方で、ビッグデータ時代の到来を背景に、基礎研究から応用開発まで、膨大かつ多様なデータを実社会の中で積極的に利活用す

べく技術を進化させていこうという方向性がうかがえることは特筆に値する。この特集がデータ工学と情報マネジメントの研究コミュニティを中心に、真に社会に役立つIT革新を生み出す契機となれば幸いである。

本特集を編集するにあたり、厳しいスケジュールにもかかわらず丁寧な査読をして下さった査読委員の方々、並びに編集作業に携わって下さった編集委員の方々に厚く御礼申し上げます。特に、編集幹事の筑波大学 鈴木伸崇先生、首都大学東京 片山薫先生、京都産業大学 中島伸介先生には、編集作業全般にわたり多大な御尽力を頂いた。更に、学会出版事務局の高木久恵様にも大変お世話になった。この場をお借りして、皆様に心より御礼申し上げます。

最後に、本特集並びにDEIMフォーラムをはじめ、データ工学と情報マネジメント分野の研究活動が今後ますます発展していくことを強く祈念するものである。

是津 耕司（正員） 1992東工大・工・情報工学卒。2005京都大学大学院情報学研究所博士課程了。博士（情報学）。1992日本IBM入社。2003通信総合研究所専攻研究員、2005情報通信研究機構研究員を経て、2011より同ユニバーサルコミュニケーション研究所情報活用基盤研究室長、現在に至る。京都大学連携准教授（2008～）。慶應義塾大学SFC研究所上席研究員（2008～2010）。キール大学コンピュータ科学研究所招聘研究員（2009）。新世代ネットワーク推進フォーラムSWG主査（2009～2010）。本会データ工学研究専門委員会 副委員長（2011）。情報処理学会、日本データベース学会、米国計算機学会（ACM）等各会員。

データ工学と情報マネジメント論文特集編集委員会

委員長	是津 耕司
幹事	鈴木 伸崇・片山 薫・中島 伸介
委員	天笠 俊之・小口 正人・鬼塚 真・河合 由起子
	小林 一郎・鈴木 優・田島 敬史・豊田 正史
	中野 美由紀・橋本 隆子・波多野 賢治・宝珍 輝尚